

New Horizon 年間指導計画 第1学年

月	時間	単元・題材	学習目標	学習内容	主な言語材料	小学校英語活動における 関連言語材料	観点別学習状況の評価規準 A: 十分満足できる状況 B: おおむね満足できる状況	
							意	表
4	5	Hello, English!	英語の音や文字に関心を持ち、あいさつや指示を理解したり、アルファベットの読み書きができる。	【使用場面】教室 【働き】あいさつする指示する	・教室英語 Good morning. How are you? Goodbye. Stand up. Sit down. Open your books. Close your books. など ・身のまわりの英語 ・アルファベット	Hello. Good morning. How are you? I'm fine, thank you. See you. Goodbye. Good night. Sit down. Stand up. Listen. Raise your hand. Close your eyes. Be quiet. Touch. 食べ物、スポーツ、色、動物などの単語 アルファベット	意	A: 英語の音や文字に関心を持ち、間違うことを恐れず積極的に英語を話し、友達とやりとりをしている。 B: 英語の音や文字に関心を持ち、間違うことを恐れず英語を話そうとしている。
							表	A: 強勢に気を付け、英語らしく正しく発音することができる。 B: 強勢に気を付け、英語らしく発音することができる。
							理	A: 英語のあいさつや指示を正しく聞き取り、適切に反応することができる。 B: 英語のあいさつや指示を聞き取り、反応することができる。
							言	A: 英語独特の音と日本語の音との違いが説明でき、正しく発音することができる。 B: 英語独特の音と日本語の音との違いを言うことができ、発音している。
5	4	Unit 1 ようこそグリーン先生	英語で自己紹介をしたり、相手を確かめたり、出身国を尋ねたりすることができる。	【使用場面】ALT との初対面 【働き】あいさつする自己紹介する相手を確かめる質問する、答える	・基本文 I'm Emi. You are Ms.Green. Are you Ms.Green? Yes, I am. Are you from America? No, I'm not. ・重要表現 Good morning. Nice to meet you.	What's your name? My name is ~ Nice to meet you. This is my name card. How do you do? Are you a lion? Yes, I am. Where are you from? I'm from ~ さまざまな国名	意	A: 間違うことを恐れず、積極的に自己紹介したり、自ら進んで相手のことを尋ねたりしている。 B: 間違うことを恐れず、自己紹介したり、相手のことを尋ねたりしている。
							表	A: 自分のことを分かりやすく紹介することができ、聞かれたことに対して適切に応答することができる。 B: 自分のことを簡単に紹介でき、聞かれたことに対して応答することができる。
							理	A: 自己紹介や相手の応答を聞いて内容を正しく理解できる。 B: 自己紹介や相手の応答を聞いて概要を理解できる。
							言	A: 「名」による自己紹介や Eye contact の大切さを知り、それをよく心がけて対話に取り組んでいる。 B: 「名」による自己紹介を知り、相手の顔や目を見て対話している。
	4	Unit 2 学校で	校内を案内する場面で、何であるかを説明できたり、尋ねたりすることができる。簡単な人物紹介もできる。	【使用場面】校内案内人の紹介 【働き】説明する質問する、答える紹介するあいさつする	・基本文 This is my country. That is my country. Is this a school? No, it is not. It is a hospital. Yes, it is. He is my friend. She is our teacher. ・重要表現 I see. Hi.	What's this? It's ~. Where ~? Excuse me. Where is the gym? This way, please. Who is this? This is my father. music room, principle's room teacher's room, classroom 等 pencil, eraser, ruler, scissors 等	意	A: 校内の説明や他者紹介の活動に、間違いを恐れず楽しく熱心に取り組んでいる。 B: 校内の説明や他者紹介の活動に、間違いを恐れずに取り組んでいる。
							表	A: 適切な表現を使って、正確な発音で丁寧に校内紹介や他者紹介を行うことができる。 B: 適切な表現を使って校内紹介や他者紹介ができる。
							理	A: 説明や紹介された内容を正しく聞き取り、説明することができる。 B: 説明や紹介された内容を聞き取り、その概要を言うことができる。
							言	A: this(that)の用法や紹介は名前を添えて行うという名前を大切にすることを理解して紹介している。 B: this(that)の用法や紹介は名前を添えて行うという名前を大切にすることを理解している。
6	1	まとめと練習 1	be 動詞について復習し、理解を確かめる。		be 動詞		言	A: 英語と日本語の語順の違いや be 動詞の形についての知識を身に付けている。 B: 英語と日本語の語順の違いや be 動詞の形を理解している。
	1	単語・文の書き方	文字や符号を使って、単語や文を書くことができる。				言	A: 英語を表記する際の基本的なきまりを理解して正しく書くことができる。 B: 英語を表記する際の基本的なきまりを理解して書くことができる。
	1	Word Box 1 数字	100 までの数字の言い方が分かる。		100 までの数字 be 動詞	What number is this? How old are you? What's your telephone number? 数字 1 ~ 100	意	A: 数字を使った言語活動に積極的に取り組み、発話しようとする。 B: 数字を使った言語活動に間違いを恐れずに取り組もうとする。
							表	A: 数字を使った表現を、正しい強勢、イントネーションを用いて話すことができる。

							理 B : モデル紹介文を読み、書かれた内容を整理して正しく読み取ることができる。
							言 A : モデル紹介文を読み、書かれた概要を読み取ることができる。
							意 A : スピーチの形式やマナーについて理解して、それを生かして活動している。
							B : スピーチの形式やマナーについて理解している。
9	1	Speaking Plus 1 忘れ物	話しかけるときの、聞き返すとき、お礼を言うときの表現とその応答を学ぶ。	【使用場面】 駅 【働き】 話しかける お礼を言う、応える	・基本表現 Excuse me. Pardon? Thank you. You're welcome.	More slowly, please. Pardon? Once more, please. Thank you. You're welcome. Excuse me. Here you are. Your change is 2 dollars. Thank you very much.	意 A : モデル対話をもとに、自分で表現を工夫して対話をしようとしている。
							B : モデル対話をもとに、自分で対話をしようとしている。
							表 A : モデル対話の内容が表現されるように音読し、数文加えたショートスキットのロールプレイができる。
							B : モデル対話の音読とロールプレイができる。
							理 A : モデル対話の内容を正しく理解することができる。
							B : 場面を把握して、モデル対話の概要が理解できる。
							言 A : 話しかける、お礼を言うなどの慣用表現を理解して適切に使っている。
							B : 話しかける、お礼を言うなどの慣用表現を理解している。
							意 A : 対話文を参考に、注文する、提案する、指示する表現を多く使えるよう、会話の相手を数多く求め、積極的に会話しようとする。
							B : 対話文を参考に、注文する、提案する、指示することを表現するロールプレイを楽しもうとしている。
							表 A : 対話文を参考に、効果的な表現を工夫しながら正しい発音でロールプレイができる。
							B : 対話文を参考に、ロールプレイができる。
							理 A : 指示や依頼などに対して、正しく素早く応じることができる。
							B : 指示や依頼などに対して、応じることができる。
							言 A : 注文の場面に必要な様々な表現を身に付け、対話の中での的確に使っている。
							B : 注文の場面に必要な表現を理解している。
							意 A : 曜日を使った言語活動に取り組み、積極的に発話しようとする。
							B : 曜日を使った言語活動に間違いを恐れずに取り組もうとする。
							表 A : 曜日の言い方や時間割を、正しい強勢、イントネーションで話し、対話することができる。
							B : 曜日の言い方を正しい強勢、イントネーションで話すことができる。
							言 A : 曜日に関する知識を正しく身に付けている。
							B : 曜日名を理解している。
							意 A : 日本文化やカナダに関心を持ち、人物紹介では相手に分かってもらえるように内容が豊かになる工夫をしている。
							B : 歌舞伎や日本の文字、トロントに関心を持ち、家族などを紹介する活動にも関心をもっている。
							表 A : 家族や友達などについて多くのことを相手に分かってもらえるように丁寧に英語で発表できる。
							B : 家族や友達などについて、英語で発表できる。
							理 A : 歌舞伎や日本の文字、トロントについての内容を意味を確認したり、聞き返したりして、正しく理解することができる。
							B : 歌舞伎や日本の文字、トロントについての概要を読んだり聞いたりして理解することができる。
							A : 三単現の概念や発音の仕方、その疑問文、否定文の文構造を正しく理解すると

							言	ともに、日本文化やカナダについて理解している。 B：三単現の概念やその疑問文、否定文の文構造を理解するとともに、歌舞伎や文字、トロントについて理解している。
10	1	まとめと練習 3	三人称単数現在形について復習し、理解を深める。		三人称単数現在		言	A：三人称単数現在形の s,es と一人称や二人称との違いを理解している。 B：三人称単数現在形の文の時、一般動詞の語尾に s もしくは es を伴うことを理解している。
	1	Listening Plus 2 友達のプロフィール	友達の簡単な自己紹介のスピーチを聞いて、ポイントを理解できる。	【使用場面】スピーチ 【働き】発表する 質問する、答える 紹介する	be 動詞と一般動詞		意	A：相手のスピーチに関心をもって、メモを取ったり、聞き取れない内容を聞き返したりしながら聞いている。 B：相手のスピーチに関心をもって聞いている。
							表	A：紹介された内容を、適した表現を選択して正しく話すことができる。 B：紹介された内容を、表現を選択して話すことができる。
							理	A：スピーチを正しく聞き取り、そのポイントを説明することができる。 B：スピーチの大切な部分を聞き取ることができる。
	1	Speaking Plus 2 道案内	目的地までの乗り物での行き方を尋ねたり、教えたりすることができる。	【使用場面】道案内 【働き】尋ねる、教える	・基本表現 Which bus goes to City Hall? Take Bus No.3. ・連語、重要表現 over there How long ~ ?	Where do you want to go? Where is the temple? Where are we? north,south,west,east 建物の名前 How do you get there? By train. 乗り物の名前 Where shall we go? To City Hall. Where are you going? I'm going to the science room. Excuse me. Where is the bathroom? This way, please. Turn right. I don't know.	意	A：英語で道案内する活動に自ら学んだ表現などを使い、多くの人と楽しみながら取り組んでいる。 B：英語で道案内する活動に関心をもって取り組んでいる。
							表	A：モデル対話を応用して、適切な言葉、表現で道案内をすることができる。 B：モデル対話をまねて道案内をすることができる。
							理	A：モデル対話の内容を正しく理解することができる。 B：場面を把握して、モデル対話の概要を理解することができる。
							言	A：聞き返して確認し、つなぎ言葉を用いるなどの工夫について理解して用いている。 B：聞き返して確認し、つなぎ言葉を用いるなどの工夫について理解している。
	5	Unit 7 カナダの学校	テレビ会議を通してカナダの学校生活について知り、異文化理解を深める。また、学校生活について尋ねたり、答えたりすることができる。	【使用場面】テレビ会議 【働き】質問する、答える	・基本文 Who is Bill? He is my brother. What time is it? It is eight. ・連語、重要表現 ~ years old junior high school	Who is it? It's my father. Who am I? What time is it? It's five o'clock. It's lunch time. 職業名 What do you want to be? I want to be a singer. Why? Because I like songs. What do you do? How is the weather? It's sunny. How many?	意	A：カナダの学校生活や時差について関心を持ち、自分の学校の多くのことを相手に分かってもらえるよう工夫して伝えている。 B：カナダの学校生活や時差について関心を持ち、自分の学校の様子を伝えようとしている。
							表	A：日本とカナダの学校生活の違いを分かりやすく説明できる。 B：日本とカナダの学校生活について説明できる。
						理	A：カナダの学校生活についての内容を、読んだり聞いたりして、意味を確認したり聞き返したり、正しく理解することができる。 B：カナダの学校生活についての概要を、読んだり聞いたりして理解することができる。	
						言	A：疑問詞 Who,What,How を用いた文構造を正しく用いるとともに、カナダの学校生活について分かり、日本との違いを説明している。 B：疑問詞 Who,What,How を用いた文構造を理解するとともに、カナダの学校生活について分かる。	
11	2	Writing Plus 1 学校のホームページ	必要な情報を整理し、自分の学校を紹介する英文を書くことができる。	【使用場面】ホームページ 【働き】紹介する	・連語、重要表現 sports day Welcome to ~ .		意	A：学校紹介のホームページ作成に興味をもって取り組み、必要に応じて辞書などを活用している。 B：学校紹介のホームページ作成に興味をもって取り組んでいる。
							表	A：内容を整理し、学校紹介の英文を文の構成に気を付け、分かりやすく書くことができる。

4	Unit 8 はじめての カナダ旅行	る。 ものがどこに あるか尋ねたり、その持ち 主について尋 ねたり、答え たりすること ができる。	【使用場面】 家 バス停 空港 【働き】 質問する、答 える ほめる 紹介する	・基本文 Where is my CD? It is on the chair. Whose bag is this? It is mine. Do you know him? Do you know her? ・重要表現 Thanks.	Do you have a stapler? Where? in, on, under, next to Where is my cap? Here you are. Where do you live? Whose is it? It's hers. It's his. It's mine. Whose watch is it? It is my watch.	意 表 理 言	B : 内容を整理し、学校紹介の英文を書くことができる。 A : 相手の話すことに興味をもち、問い返すなどして会話を続けようとしている。 B : 相手の話すことに興味をもち、学んだ表現を使って会話を続けようとしている。 A : 本文の対話の内容が表現されるように、正しい強勢、イントネーションで音読 とロールプレイができる。 B : つまることなく本文の対話の音読とロールプレイができる。 A : 本文の対話の内容を正しく理解することができる。 B : 本文の対話の概要を理解することができる。 A : 疑問詞を用いた複数の文構造を正しく用い、ほめられたときに謙譲せずお礼を 言うことを理解して身に付けている。 B : 疑問詞を用いた文構造について理解するとともに、ほめられたときに謙譲せず お礼を言うことを理解している。
	1	まとめと練 習 4	人称代名詞に ついて復習 し、理解を深 める。	人称代名詞		言	A : 人称代名詞について正しく理解して格の違いが説明できる。 B : 人称代名詞について理解している。
	1	Listening Plus 3 海外旅行	空港や機内 での対話を聞 いて、ポイント を理解するこ とができる。	【使用場面】 搭乗券の確認 機内 【働き】 確認する 注文する			意 理 言
12	Unit 9 クリスマス がやってき た	カナダとオー ストラリアの クリスマスに ついて理解 し、日本との 相違点に分 かる。また、今 の動作を表現 することがで きる。	【使用場面】 クリスマス ドライブ 【働き】 描写する 質問する、答 える 指示する	・基本文 Koji is cooking now. Is he swimming? Yes, he is. No, he is not. What is he doing? He is swimming. Don't drive fast. Be careful.	What are you doing? I'm washing. drinking, shopping, singing, crying, playing the piano, listening Touch. Pick up. Don't put plastics in this bag.	意 表 理 言	A : 海外のクリスマスに関心をもち、進んで英文を聞いたり読んだりして、日本と の違いをまとめようとしている。 B : 海外のクリスマスに関心をもち、進んで英文を聞いたり読んだりしている。 A : 現在進行形を用いて、状況を正しく説明したり、適切に応答したりできる。 B : 現在進行形を用いて、状況を表現することができる。 A : カナダやオーストラリアのクリスマスについての内容を正しく理解することが できる。 B : カナダやオーストラリアのクリスマスについての概要を理解することができ る。 A : 現在進行形の表現を正しく理解して、カナダやオーストラリア、その他諸外国 と日本とのクリスマスの相違を説明している。 B : 現在進行形の表現を知り、カナダやオーストラリアと日本とのクリスマスの相 違を理解している。
	1	まとめと練 習 5	現在進行形に ついて復習 し、理解を深 める。	現在進行形		言	A : 現在進行形の文構造について正しく理解して用いている。 B : 現在進行形の文構造について理解している。
	2	Multi Plus 2 わたしの一 日	一日の生活パ ターンにつ いて話したり、 友達に尋ね たりすること ができる。	【働き】 発表する 質問する、答 える	・連語表現 get up get to go to bed	What do you do on Sunday? get up, wash my face, brush my teeth, go to bed eat breakfast, go to school	意 表 理

1	1	Speaking Plus 3 電話の会話	電話で簡単なやりとりができ、相手を招待することができる。	【使用場面】 電話 【働き】 あいさつする 招待する	・基本表現 Hello? Hello? This is Lisa. ・重要表現 How about ~? See you. Goodbye.	This is Ken speaking.	言 意 表 理 言	B : 日常生活の行動を表す表現を理解している。 A : 電話での会話に関心があり、基本的なやりとりや相手を招待する対話に会話の相手を数多く求め、複数の表現を使って取り組んでいる。 B : 電話での会話に関心があり、基本的なやりとりや相手を招待する対話に取り組んでいる。 A : 電話で、定型表現や音声表現を工夫しながら簡単なやりとりができ、相手を招待することができる。 B : 電話で、簡単なやりとりをし、相手を招待することができる。 A : 電話での場面を理解してモデル対話の内容を正しく理解できる。 B : 電話での場面を理解してモデル対話の概要が理解できる。 A : 電話で用いられる基本的な表現が分かり使っている。 B : 電話で用いられる基本的な表現が分かる。	
		4	Unite 10 ナイアガラの滝	トロント市やナイアガラの滝について聞いたり読んだりして理解することができる。また、自分のできること、できないことなどを述べることができる。	【使用場面】 観光地 【働き】 描写する 報告する 質問する、答える	・基本文 We can see the game today. We cannot see the game today. Can we ride on the boat? Yes, we can. No, we cannot. When can we see them? We can see them at midnight.	Can you do this? Yes, I can. Can I borrow it? Sure. Here you are. Can you play this afternoon? When is your birthday? My birthday is May. 月の名前 序数	意	A : トロント市やナイアガラの滝に興味をもち、進んで英文を聞いたり読んだりして、それについて伝えようとしている。 B : トロント市やナイアガラの滝に興味をもち、英文を聞いたり読んだりしている。
								表	A : 自分のできること、できないことを相手に正しく話したり、書いたりして伝えることができる。 B : 自分のできること、できないことを相手に伝えることができる。
								理	A : カナダの観光場面での内容を、聞いたり読んだりして正しく理解することができる。 B : カナダの観光場面での概要を、聞いたり読んだりして理解することができる。
言	A : can と do の違いを正しく理解してカナダのことについて分かる。 B : can の用法を理解してトロント市やナイアガラの滝、レンボープリッジについて分かる。								
1	1	まとめと練習 6	疑問詞について復習し、理解を深める。		疑問詞	What, Where, When, Why How many, Who, Whose How old, How	言	A : 疑問詞を用いた文構造について理解して正しく用いている。 B : 疑問詞を用いた文構造について理解している。	
		1	Word Box 3 月日	月、日の言い方を理解する。	【働き】 質問する、答える	月名 序数 When is your birthday?	意	A : 自ら学んだ表現などを使って、日付や誕生日についての対話に多くの人と、間違ふことを恐れず楽しみながら進んで取り組んでいる。 B : 自ら学んだ表現などを使って、日付や誕生日についての対話に取り組んでいる。	
							表	A : 日付や誕生日、月の説明などを正しい発音やイントネーションで行うことができる。 B : 日付や誕生日、月の説明などを行うことができる。	
							言	A : 日付の言い方や書き方を理解して正しく用いている。 B : 日付の言い方や書き方を理解している。	
意	A : メモを取るなど夢の説明に関心をもって、間違い探しに進んで取り組み、発表しようとしている。 B : 夢の説明に関心をもって、間違い探しに取り組んでいる。								
理	A : 夢の内容をすべて正しく理解して説明することができる。 B : 夢の概要を理解することができる。								
2	1	Speaking Plus 4 ちょっとお願い	家族や友達に許可を求めたり依頼したりできる。	【使用場面】 家 【働き】 許可を求める、答える 依頼する、答える	・基本表現 Can I open the window? Can I help you? ・熟語、重要表現 help ~ with	Can I borrow it? Sure. Do you have a red pencil? Sorry, I don't. Can I help you? Would you pass me the sugar? May I ask some questions?	意	A : モデル対話を参考に、許可を求めたり、依頼したりするペアワークをより多くの生徒と進んで行おうとする。 B : モデル対話を参考に、許可を求めたり、依頼したりするペアワークを行おうとする。	
							表	A : モデル対話を応用して、適切な言葉や表現で、許可を求めたり依頼することができる。 B : モデル対話をまねて、許可を求めたり依頼することができる。	
							言	A : モデル対話の内容を正しく理解することができる。	

						理	B : 場面が理解でき、モデル対話の概要を理解することができる。
						言	A : 許可するときや、断るとき表現を理解して適切に使っている。
						意	B : 許可するときや、断るとき表現を理解している。
4	Unit 11 それぞれのお正月	レインボーブリッジについて理解する。 また、冬休みのことなどを表現することができる。	【使用場面】 絵はがき 公園 【働き】 伝える 説明する 質問する、答える	・基本文 I walked across the bridge yesterday. I went to school yesterday. Did you study English yesterday? Yes, I did. No, I didn't. I did not study English.	Where did you go? I went to ~. What did you eat for breakfast? I ate ~. What did you do? Who did you see?	表	A : それぞれのお正月についての内容に興味をもち、自分の冬休みの過ごし方について学んだ表現を使って進んで説明しようとしている。 B : それぞれのお正月についての内容に興味をもち、自分の冬休みの過ごし方について説明しようとしている。
						理	A : 自分の冬休みの過ごし方について、相手に分かるように文章の構成を工夫して英語で詳しく説明できる。 B : 自分の冬休みの過ごし方について、英語で説明できる。
						言	A : それぞれのお正月についての内容を正しく理解することができる。 B : それぞれのお正月についての概要を理解することができる。
						意	A : 過去形について、日本語と英語の違いを動詞の語形変化に着目して理解するとともに、カナダのことについて分かる。 B : 過去形について、日本語と英語の違いを理解するとともに、レインボーブリッジについて分かる。
1	まとめと練習 7	一般動詞の過去形について復習し、理解を確かめる。		一般動詞の過去形		言	A : 過去形の文構造を理解して正しく用いている。 B : 過去形の文構造について理解している。
1	Listening Plus 5 ある日曜日	過去にしたことについて話を聞いて、ポイントを理解することができる。	【働き】 説明する 質問する、答える	一般動詞の過去形		意	A : 「この前の日曜日」のスピーチに関心をもち、メモなどをとったり、うなずいたりしながら聞いている。 B : 「この前の日曜日」のスピーチに関心をもちて聞いている。
						理	A : 健のスピーチを聞いて、正しく理解できる。 B : 健のスピーチを聞いて、概要やポイントが理解できる。
3	Writing Plus 2 絵はがき	近況を報告する絵はがきを書くことができる。	【使用場面】 絵はがき 【働き】 伝える	一般動詞の過去形	had, went, saw, ate	意	A : 間違えることを恐れず、学んだ表現を使って進んで手紙を書こうとする。 B : 間違えることを恐れず、手紙を書こうとする。
						表	A : 未習の語句も使いながら、適した語句を選択して分かりやすい手紙を書くことができる。 B : 既習の語句や表現を活用し、語句を選びながら手紙を書くことができる。
						言	A : 手紙の書き方を理解して活用している。 B : 手紙の書き方を理解している。
						意	A : 物語を読み、メッセージを読み取り、自分の考えをまとめようとしている。 B : 物語を読み、メッセージを読み取るようとしている。
						表	A : 本文を場面や心情に応じて音読することができる。 B : 本文をなめらかに音読することができる。
						理	A : 物語の内容を正しく読み取ることができる。 B : 物語の要点を正しく読み取ることができる。
						言	A : 物語にこめられたメッセージを理解して友達との考え方の違いに気付く。 B : 物語にこめられたメッセージを理解している。